

ORACLE SUPPLIER CODE OF ETHICS AND BUSINESS CONDUCT

I. 適用範囲

このコードは、オラクル・コーポレーション及びその子会社（以下、「オラクル」と総称します）のサプライヤーであるサプライヤー、およびサプライヤーにより雇用されているか又はサプライヤーに対して業務の提供に従事しているすべての方（以下、「サプライヤー」または「あなた」といいます）に対し、全世界において適用されます。オラクルは、サプライヤーに、いかなる場合であっても、サプライヤーのビジネスに適用される全ての法令及びこのコードに従って企業活動を行っていただくよう求めます。

II. 法令及び行動指針の遵守

法令遵守とは、法律を守るだけでなく、サプライヤーの倫理的責任を認識し、かつそれを満たすように、企業活動を行うことを意味しています。現地の法律がこのコードより規制が緩い場合は、サプライヤーの行為が当該法律では合法的であったとしても、このコードに従わなければなりません。一方、現地の法律がこのコードよりも規制が厳しい場合は、少なくとも、常に当該法律に従う必要があります。

オラクルは、全てのサプライヤーと率直でオープンな取引を維持しており、相互に利益のある関係を発展させるよう努力しています。オラクルは、サプライヤーが、高い倫理規準を遵守し、かつ、不正と受け取られるおそれのある外観を伴ういかなる行動にも従事しないことを期待しています。

不正な支払いまたは経済ボイコットの禁止

サプライヤーは、ビジネスを獲得もしくは維持する目的、または不正な利益を確保する目的で、政府や公共国際機関の職員、政党、政治的な地位への候補者、又は企業の取締役、役員、従業員、あるいは法人顧客やサプライヤーの代理人に対し、直接的間接的を問わず、金銭又は金銭的価値のあるものによる賄賂の支払いを行ったり、又は支払いを約束したりしてはなりません。

サプライヤーは、米国政府により承認されていない経済ボイコットに参加してはいけません。また、そのような承認されていないボイコットを支援していると解釈されるような情報を提供してはいけません。

財務の健全性

サプライヤーは、サプライヤーの会計帳簿、財務記録及び財務諸表、及びオラクルに対して提供されるレポートやその他ドキュメントにある、オラクルとの契約

及び関連する注文書における全ての取引につき、これを正確に記録しなければならず、かつ口頭であれ書面であれ、サイドレターの締結を防がなければなりません。オラクルとの取引に関連する資金の取り扱い及び支払いは、明確に定められた手続に従い、正式に承認されたオラクルの書面による契約に従うものでなければなりません。また、文書を不正に改ざんしたり、正当な権限のない人が、それに署名したりしないでください。オラクルとの取引における非公開又は簿外の資金や資産は、目的のいかんを問わず、これを設定し又は保持してはなりません。

サプライヤーの会計帳簿、財務記録及び財務諸表は、すべての資産と債務を適正に記載し、オラクルの製品及びサービスに関してサプライヤーが行ったすべての取引を正確に反映しているものでなければなりません。さらに、サプライヤーの業務記録は、記録保存に関する指針及び適用されるすべての法令に従って保存されなければなりません。

オラクルのポリシーでは、決算業績及びその他の重要な出来事について、完全に、公正に、正確に、適時に、かつ理解可能な報告を行うこととしています。オラクルはサプライヤーに、このポリシーに従い、適宜、正確かつ完全に報告し、及び適用されるすべての法令を遵守することを期待します。

提供可能なビジネス上の儀礼

サプライヤーは、オラクルの従業員または代表者への支出が妥当であり、かつ通常の適切な業務の過程において行われるように、かつ、賄賂または不正な勧誘行為であると合理的に解釈されることのないように、あるいはその他適用される法令に違反しないように、慎重に注意を払って対処しなければなりません。サプライヤーは、いかなる場合も性風俗を呼び物とする施設において、ビジネス上の会食を提供し又は受けてはならず、また、ビジネス上の会合に参加しないものとします。

いずれにしても、ビジネス上の儀礼が、不正に優先的な取り扱いを受ける目的又は不適切な利益を得る目的で、受け取った者の判断に影響を及ぼすためと解釈されるものであってはなりません。そのビジネス上の儀礼が妥当であるかを判断する一般的なガイドラインは、それが公にされた場合にサプライヤー、オラクルまたは受領者が困ることになるかどうかということです。

受領可能なビジネス上の儀礼

パートナーは、ビジネス上の儀礼、贈り物又は接待を受ける際は、それらが適切なものであり、かつ、提供者が有利な取り扱いを受けようとしたものと合理的に解釈されるおそれがないこと、又はその他適用される法令に違反しないことを確認する責任があります。

反トラスト法および競争法

多くの国には、不正な取引制限を禁止する、一般に反トラスト法または競争法と呼ばれる法規があります。サプライヤーは、常にこれらの法律を遵守しなければなりません。これらの法律は、不公正な取引方法から消費者および競合会社を保護し、健全な競争を促進し保護するためのものです。オラクルは、適用されるあらゆる国の反トラスト法又は競争法を厳格に守ることを約束します。

反トラスト法または競争法は国により異なりますが、通常これらの法律は、消費者に利益をもたらさずに競争を低下させるような合意または活動を禁止しています。一般に、反トラスト法又は競争法に違反しているとされるものには、競合会社間の契約又は合意であって、価格を維持又は統制すること、特定の競合会社または再販業者に対して契約をさせるために入札を仕組み又は組織すること（談合）、特定のサプライヤー又は顧客をボイコットすること、市場又は顧客を分割し又は割り当てること、競争を阻害する目的で製品又は製品群の生産又は販売を制限すること、などがあります。

そのような合意は、公序良俗に反すると共に、オラクルのポリシーに反します。サプライヤーは、決してそのような取引慣行に関与してはなりませんし、オラクル、他のオラクルのサプライヤー、または他の企業の代表者とのこうした事柄に関する話し合いに決して参加してはなりません。サプライヤーは、(1) 価格、(2) コスト、(3) 利益又は利益率、(4) 製品の量、又は(5) 特定の顧客のビジネスに関する入札や価格設定について、競合企業と話し合うことを差し控えなければなりません。

排他条件付取引または抱合せ販売に関する合意などの取決め、再販価格についての顧客との合意、その他のサプライヤー又は顧客との競争制限的取決め、競合顧客に対する異なる価格の請求、又はコストを下回る価格設定は、米国および現地の反トラスト法または競争法上の重大なリスクを引き起こします。サプライヤーは、オラクルの法務部門による事前のレビュー及び同意がない限り、このような合意や販売方法に参加してはなりません。米国の反トラスト法は、米国への輸入または米国からの輸出に関連する企業活動および取引に適用されますので、同法がサプライヤーに対して適用される場合があることに注意してください。

不公正な競争方法および欺瞞的な慣行も禁止されています。これらの例としては、サプライヤー又はオラクルの製品やサービスに関する虚偽表示又は不当表示、オラクルの競合会社又はその製品やサービスを不当に中傷すること、立証できる事実なくして競合製品にクレームをすること、又はオラクルあるいはその他の企業の商標を、当該製品やサービスの出所について顧客に混同を生じさせる方法で使用することなどがあります。

知的財産と秘密保持義務

オラクルは、他者の知的財産権を尊重します。又、オラクルは、他者がオラクルの知的財産権を尊重することを期待しています。サプライヤーは、オラクルの知的財産権を保護する責任があります。知的財産権保護の重要な要素は、オラクルの営業秘密及びその他財産的価値を有する情報の秘密を守ることです。サプライヤーには、オラクルの知的財産権を尊重し、書面による許可なくオラクルの有する特許技術を使用したり、著作権の及ぶソフトウェア、ドキュメンテーション、その他の資料を複製しないようにして頂く必要があります。サプライヤーは、オラクルと業務を行う行なう際には、第三者の、財産的価値を有する情報、特許で保護された技術、著作権で保護されているソフトウェア、ドキュメント、又はその他マテリアルにつき、許諾無くそれを使用してはなりません。

サプライヤーは、機密情報を保護し、通常業務の中で必要な場合又はオラクルにより指示若しくは許可された場合以外は、それを譲渡、公表、使用、又は開示してはなりません。また、サプライヤーは、適用されるデータプライバシーに関する規準（以下「プライバシー規準」といいます）を守らなければなりません。機密情報を含んだマテリアル又はプライバシー規準で保護された情報は、安全に保管し、かつ知る必要のある社内の従業員の間でのみ共有してください。たとえば、機密情報には、オラクルにより又はオラクルのために開発され又は使用権許諾されたソースコード、ソフトウェア及びその他の発明又は開発物（開発段階を問わない）、マーケティング計画、販売計画、競合関係の分析、製品開発計画、未公開の価格設定、発生し得る契約又は買収、事業計画又は予測、財務計画又は予測、社内のビジネス・プロセスやビジネス・プラクティス、及び見込み顧客や顧客、オラクル社員に関する情報が含まれますが、これらに限定されません。

機密情報の保護

サプライヤーは、サプライヤーがオラクルへのサービス提供に関連してアクセスすることができる機密情報（「個人情報」を含みます）を保護することが求められます。オラクルのサプライヤー／コントラクターのためのセキュリティ規準には、オラクルの機密情報、オラクルのネットワーク、またはオラクルの顧客のネットワークにアクセスする際に守らなければならないセキュリティ規準と手順が示されています。サプライヤーには、当該機密情報を収集または処理する際、これらの方針に従っていただきます。

証券とインサイダー取引に関する法律

サプライヤーは、オラクルの証券取引に適用される、米国及び各国のインサイダー取引及び証券取引に関する全ての法律を完全に遵守するよう求められています。証券には、普通株式、債券、デリバティブ（オプション、先物、及びスワップ等）、及びその他の金融商品証書が含まれます。

米国連邦、米国各州、及び各国の法律は、重要な未公開の会社情報（以下、「インサイダー情報」ともいいます）を、その情報が広く公表される前に個人的利益のために利用したり、その他の第三者に開示したりすることを禁じています。あなたがインサイダー情報を保有している間にあなた又はあなたの近親者が証券取引を行った場合、あるいはあなたが第三者又は第三者組織に対し、証券取引に利用する目的でインサイダー情報を提供した場合には、あなた及びあなたの会社が民事上及び刑事上の刑罰の対象となります。

重要な情報には、通常の判断力を有する投資家が、証券を購入、保有又は売却することを決定する際に重要と考えるであろう全ての情報が含まれます。当該情報に関連する、オラクルの証券又は他社の証券の価格の変動の原因となると合理的に予想しうるいかなる情報もこれに含まれます。このような情報には、(1)財務パフォーマンス、又は財務パフォーマンスあるいは流動性における重要な変更（財務予測を含む）、(2)見込み又は進行中である大型の合併、買収、合併事業又は会社分割、(3)大型契約の受注又はそのキャンセル、(4)主要経営陣の変更、(5)監査役（監査委員、会計監査人を含む）の変更、監査役の意見又は報告のために資格上得た情報、又は以前の監査報告の信頼の変化、(6)実際の重大な訴訟又は捜査及びそれらの恐れ、及び、(7)重要な顧客又はサプライヤーの獲得又は喪失、が含まれます。

サプライヤーは、重要な未公開情報を有する場合、その情報が関係するオラクルの証券又は他社の証券を取引してはいけません。サプライヤーは、オラクルとの関係を通じて得た重要な情報がプレスリリース又はその他を通じて一般公衆に開示され、報道機関がその情報を普及させ、投資家がそれを評価する適切な期間が経過するまで、その情報を利用するような行為をしたり、他者に伝えたり（「内報」など）してはなりません。これらの規制は、配偶者及び家族に対しても適用されます。

輸出法の遵守

米国産の物品及び技術データの輸出、再輸出、及びその利用には全て、いかなる場所においても米国の輸出管理法が適用されます。オラクルは、サプライヤーが米国及び適用される外国の輸出法、及び多国間の輸出規制の全てにつき、完全に遵守することを求めます。遵守していただけなかった場合、サプライヤー又はオラクルの輸出に関する権利を喪失することになるか、若しくはその権利が制限されるおそれがあります。また、当該法律に違反すると、罰金や懲役が科される可能性があります。サプライヤーは、サービス（又はサービスから生ずる直接の製品）より生じるいかなるデータ、情報、プログラム及び／又は資料も、直接的にも又は間接的にも、輸出管理法に違反して輸出されず、これらの法律で禁じられているいかなる目的でも使用されないことを確実にするために、これらの法律がどのように適用されるかを理解し、かつこれらの法律に従う責任があります。

利益相反

「利益相反」とは、オラクルの利害に関してサプライヤーが完全に客観性を持って行動できるかどうかについて疑念が生じるような状況を指します。オラクルは、サプライヤーが、利益相反とならないように誠実に行動することを望みます。利益相反となる状況は様々な形で発生します。サプライヤーは、オラクル又はオラクルの従業員と利益相反の状態にあるか、その状態になる可能性があると思える場合は、それに関連する詳細を全て、オラクルに報告しなくてはなりません。

ビジネス関係及び雇用関係

オラクルは、いかなる属性（人種、宗教、出身国、肌の色、性別、性同一性、年齢、身体的障害、妊娠、婚姻関係の有無、民族的出身、軍歴又は性的指向を含みますがこれらに限定されません）にも関係なく、雇用機会均等及びビジネス機会の均等の原則を支持しています。オラクルは、いかなる形態であれハラスメントを禁ずることをそのポリシーとしており、サプライヤーに対し、ハラスメントのない労働環境を提供することを期待しています。オラクルはサプライヤーに対し、現地の法律に基づいて適切に、ハラスメントのない労働環境を実践しかつ促進することを期待しています。

III. 契約一般

オラクルは、サプライヤー及びサプライヤーの従業員に、すべてのビジネスの機会において公正にかつ倫理的に競争していただくことを期待しております。製品／サービスの販売又はライセンス、契約の交渉、又はオラクルへのサービスの提供に関与するサプライヤーの従業員には、締結された契約の条件を理解し、尊重することが期待されています。サプライヤーは、オラクルに対する全てのステートメント、やり取り、及び表明につき、それらが正確でかつ真実であることを保証しなければなりません。

政府との取引

サプライヤーには、あらゆる国の政府機関による物品及びサービスの調達、及び政府機関との契約の履行に適用される法令を厳守していただくかはなりません。政府以外の顧客との取引においては適切な行為が、政府との取引の場合には不適切となったり、さらには違法となる可能性さえあります。サプライヤーは、政府機関（国際公共機関を含みます）と取引をする場合には、当該政府機関との契約及び政府職員やその従業員とのやり取りについて適用される全てのルール（

以下の要件を含みますがこれらに限定されません) につきこれを熟知しかつ遵守する義務があります。

- 政府機関の従業員や職員との取引において、サプライヤーは、関連する法律により認められうる場合を除き、政府機関の職員や従業員に対して、直接的にも間接的にも、心付け、贈り物、有利な取り扱い、接待、融資、又は金銭的価値を有するものを提供したり、又はこれを申し出たりしてはなりません。サプライヤーは、現地や米国の法令の遵守を確実にするため、政府職員又はそれを代理する者に対するこのような支払いや贈り物について適切な内部統制システム及び事前承認の仕組みを確立するものとします。
- サプライヤーは、取引に関連して有利な取り扱いを得るか又はそれに報いるために、直接的にも間接的にも、キックバックを提供したり、提供を意図したり、提供を申し出たり、又はそれを求めてはなりません。

政府職員へのロビー活動

ロビー活動とは通常、法令、規則、ポリシー及びルールに影響を及ぼすことを試みるあらゆる行動をいいます。但し、特定の司法管轄においては、「ロビー活動」の法律上の定義に調達や事業発展活動をも含む可能性があります。

サプライヤーは、オラクルに代わって、政府にロビー活動を行う行なうことはできません。ただし、書面での契約によりオラクルがロビー活動の目的で明確にサプライヤーを雇った場合は、この限りではありません。オラクルは、政府関係の事項については直接ロビー活動を行い、また、オラクルに関連する事項については、自らロビーファームを使用します。サプライヤーが雇用している対政府関係に関するコンサルタントやロビイストは、オラクルとの別個の契約がある場合を除き、オラクルはこれを利用することができず、サプライヤーは、サプライヤー自身が別個の契約を有している場合を除き、ロビー活動目的でオラクルのコンサルタントやロビイストを利用することはできません。

IV. 違反の報告

サプライヤーが、実際に、明らかに又は潜在的にこのコードの違反であると、誠実に考える行為は、オラクルの従業員による行為も含め、全てオラクルに報告してください。速やかに違反を報告することは、すべての人にとって最大の利益になります。報告は、可能な限り秘密として取り扱われます。

オラクルはビジネス上の行動及び倫理に関する疑問を含め、サプライヤーからの疑問に関し、オープン・ドア・ポリシーを維持します。上記を報告する際には、

サプライヤーは自己の所在する地域のオラクルの法務部門責任者に連絡を取ることができます。

また、サプライヤーは、オラクルのコンプライアンスおよび倫理に関するヘルプライン（電話番号：1-800-679-7417）に、週7日24時間、電話をかけることもできます。サプライヤーは、当該報告を、法律により認められる場合には匿名にて、<https://www.compliance-helpline.com/oracle.jsp>にある Oracle Incident Reporting Website を通じて何時でもオンラインにて行うことができます。EU 地域でのヘルプラインへの報告については、一定の制限が適用される点につき、ご注意ください。オラクルではなく、第三者が、このヘルプライン及び Oracle Incident Reporting Website を運営しています。当ヘルプラインは週7日24時間にて運営されており、Oracle Incident Reporting Website は何時でも利用することができます。

V. 実施

質の高いビジネス上の行動と確固たるビジネス倫理の重要性を強調している企業が世界中にある中で、The Supplier Code of Ethics and Business Conduct は、サプライヤーをそれら企業の前頭に位置づけているのです。オラクルの規準は、サプライヤーの協力があってこそ満たされます。オラクルは、このコードの規準を遵守する必要があることを、サプライヤーに認識していただくと確信しております。サプライヤーは、このコードを遵守することに同意し、かつオラクルのサプライヤーとしての地位を維持するために、このコードを遵守しなければならないことを認識するものとします。